



鉄槌の女戦士

魔物に負ける妄想
死ぬより酷い目にあう



私は鉄槌の戦士
ベルマリア

自慢じゃないけど
力では誰にも
負けないと思うよ

ベルマリアに
続け！

団長遅えっす

でも決して
無敗じゃない

るせえ！
あいつが前に
出過ぎだよ！！



駆け出しの頃：
不意打ちに
出来ず負けた
対処

捕まった私は
凌辱の限りを
尽くされた

穴という穴が
全て汚され：

魔物の吐き出した精で
満たされてしまった

もう、
やめ...

あ...
おちやに...



負けたくない
折れたくない
こんなところで
終わりたいくない

魔物の慰み物となる
日々を耐え続け……
いつか逃げ出す日の
ことを思い続けた



魔物共のスキを
見て逃げ出せたのは
それから一年後

同じ土地にはいられず
新しい場所では私は
戦士として再起した……

しかし……

は……
や……
や……







たまにいろのよ
恐怖の記憶を克服しようと
別の感情に置き換える人が
やけに露出した服だつて
「私は平気」つて自分に
言い聞かせるためよね



いや…私のは
魔術的な意味が
あつて必要な
軽装よ……
好きで全身
タイツをけ
ないでし……



余裕

あの時から
乳首が弱い
助けて!

きつとまた
捕まって…

悲鳴を誰にも
聞いてもらえず
私の心と身体は
グチャグチャに
期待?している?

嫌だ!嫌だ…?
もしこれに
当たったら
どうなるの
い……

避ける

隅々ま

胸は駄目
や馬鹿
全部駄目
もつてば
集中しる
集中しる



貴女の意識が散漫になつていたことは皆が気付いていた

悪あがきで投げつけられた棍棒を貴女はあわてて全力で弾いた



弾いた棍棒の行き先にまで気が回らず...

よりもよつて療術師に直撃

依頼を放棄して逃走せざるを得なかった



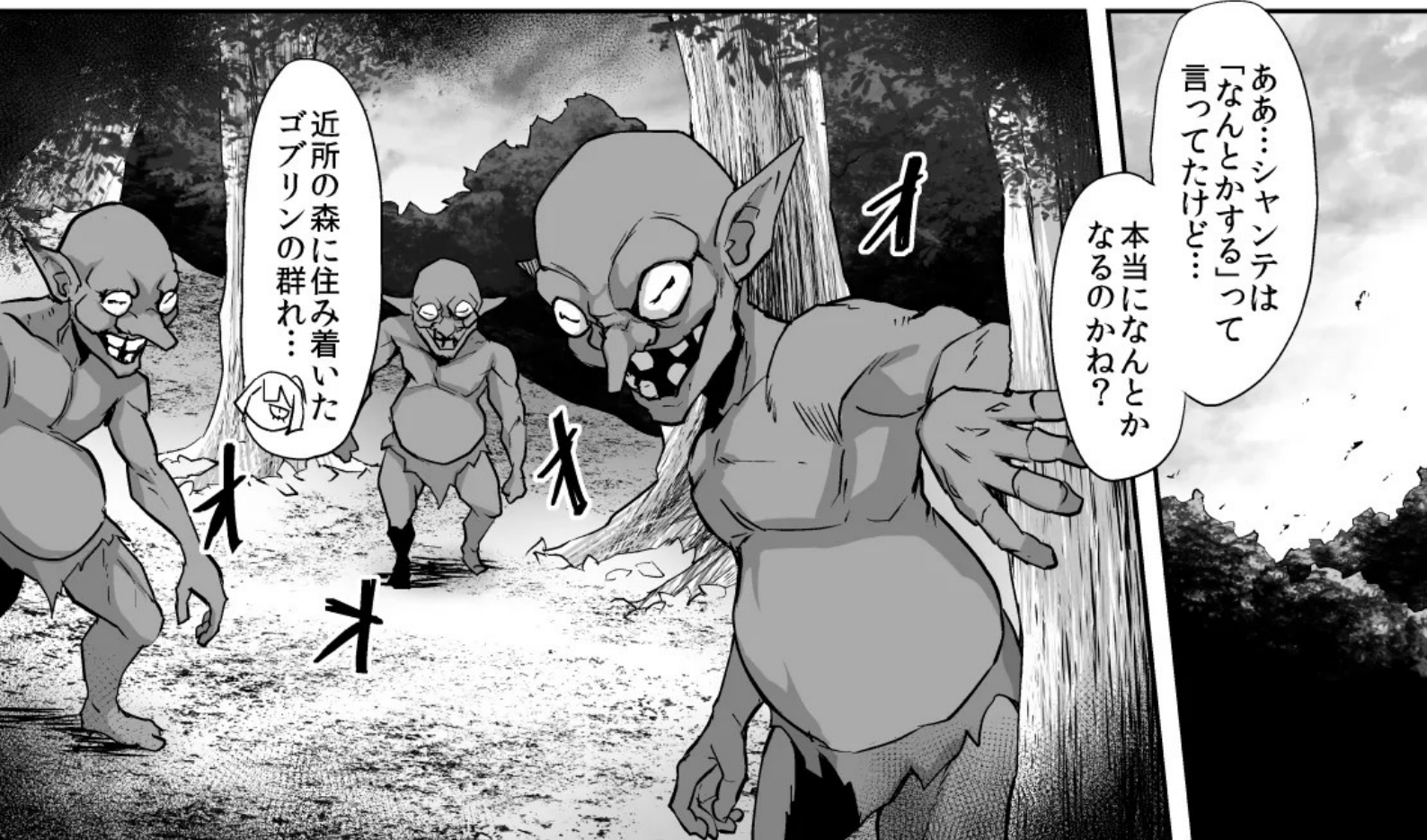
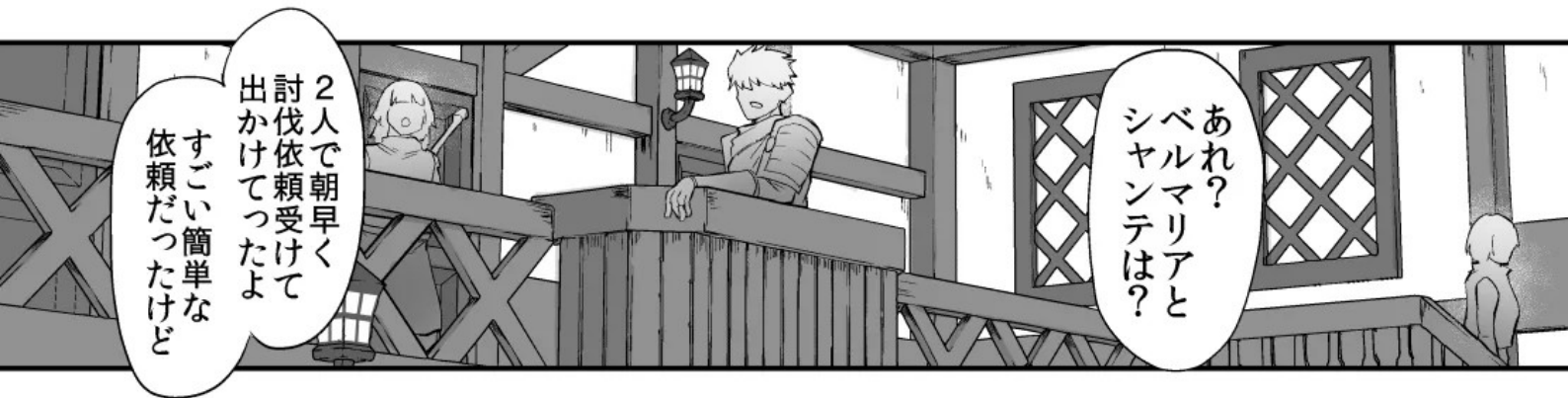
メンバーの一部からは「ベルマリアの除名」という声も上がっている

皆分かつているのよ次はケガじゃ済まない

それも... 貴女以外の誰かが

それを私が何とから出来るって言ったらどうする?

チャイ...





当然ッ！素手
でも余裕だよ！

この程度の
相手：

貴女なら目を
つぶつても
勝てるわよね



では試して
みましょう

あえ？

おっ！
ガッ！

10:05







押し返せ…
なああ…ッ

グググ

ビキッ

シヤンテ助けてっ！
見てるんでしょ！？

ホントに
犯され…あッ♡

ギィッ

チッ

ムンッ

ビクッ

やっあッ♡

ブルッ

ずん

ビクッ



本気で押してるのに
全然びくともしない

全力で抗っても…
敵わない！

これじゃ昔と
一緒だよ…



なのにどうして

ひやあつ♡
乳首だめっ
ああつ 乳首
出ちやう…

どうして…

乳首だめ
なのお…♡

ビクビク
するう…♡





否定すればする程
抗えば抗っただけ

身体がビクビクして
どうしようもなく
気持ちいいんだもん…



認めなきや
ダメなの…?

私は…敗けて
犯されるのが
好きな救い難い
変態だつて…





最近のベルマリア
戦闘中に謎にボーッ
とするの減つたよな

それでその2人は？

今日は街外れに出たワールフの討伐だったか……

何でもいいけど
解決するなら
いいことだよ

シヤンテえ！助けてえ！
これホントにダメだつて！

食べられちゃう！
食べられちゃうからあ！！

ぎゅわん

あつあ…

殺さないで……

精子ッ精子いっぱい出していいから：

へ
ち

703, 703

もつと気持ちよく
するから……ね……？



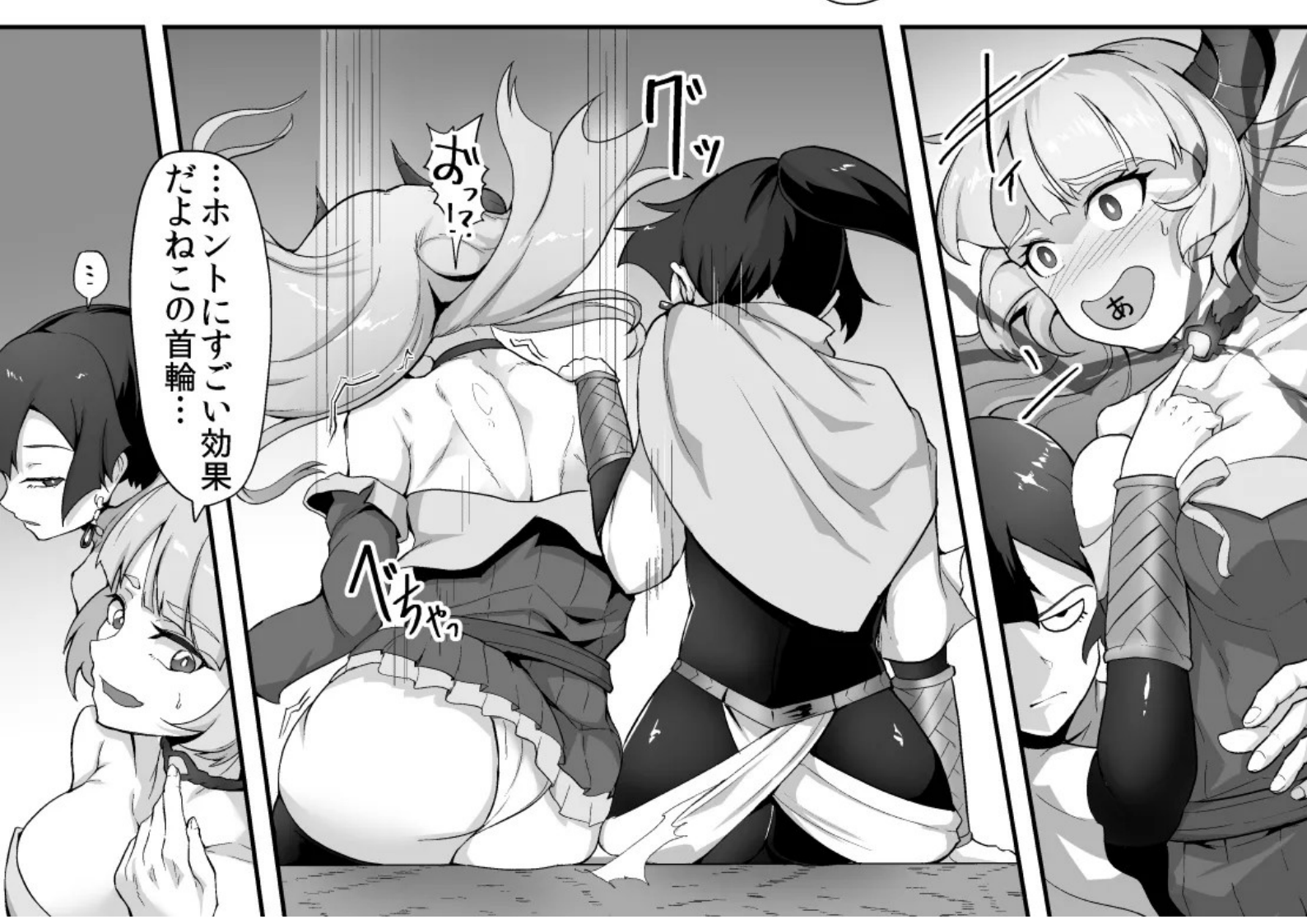


あゝははははは



一人で飲んでてもつままないじゃん! 友達私しかないの? 飲む? 逆って! ギャハハッ!

いいよ... シャンテならなんつて! えへ♡



ホントにすごい効果だよねこの首輪...

おっ!?

グッ



ベルマリア
最近はドラゴン討伐の
準備で忙しかったものね



少しは「解消」したい
方がいいんじゃない

待つてシヤンテ
これはシヤレに
なつてない...

貴女...

毎回盛り上がって
くると「助けて」って
叫んでるけどね...

あれ本当に
気分悪いから
やめて

服が…
や…

パキッ

仲間を魔物に
わざと襲わせ
てるのよ？

万が一が起らない
予防ぐらいしてるに
決まってるでしょ

分かった…
分かったから
離して…よ…

バサッ

私の友人が貴女
しかいないって？
からかわないで

貴女にとつては
私は沢山いる内の
一人だものね…

声抑えて
流石にバレ
るわよ

ちが…私
だってえぐっ♡

キゅるるる

ふふふっ♡

キゅっ♡

ギョッ

フッ♡

ギョッ

ビクッ

キゅっ♡



あれ？
ベルマリアまで
酔い潰れたの？

ドキッ

コイツの肩出し服
この角度だと全裸に
見えるよな笑

下品な冗談ね
あっち行つて

へいへい

しかしお前らしい
コンビになつたよな
これからも仲良く
やってくれよ

…そうね

ギョッ

ちよつとベルマリア
腰一回浮かせて

手挟まつて
動かせない

…んっ

何ですます
押し付けるのよ

私…シヤンテには
敵わないから…

もうとつくに首輪の
効果切れてるわよ！

グリッ
グリッ

グチャッ
グチャッ

グハッ

ビクッ

フタッ



…もう一回だけ

は？

ごめんなさい

首輪に魔力がこもってる間は絶対に死なない…？

呪術で編まれた首輪は効果に対して必ず代償を要求する…

術の行使者が一方的に得をするようには出来ていないの



ああ…せっかく弱らせてもその相手が無敵になつたら何の意味もないってことか

その欠陥を利用して今とは別の治療計画を練っていたのよ…

それが性行為に恐怖するどころか期待して犯されに行くとは…失敗…

はっ半分はお前のせいだと思う!!

ガッ



団長…直近のギルドの躍進はベルマリアの活躍によるものよ

受ける依頼のランクはギルド全体の實力で選ぶべきだわ

DA DA

DA

DA

SMASH

SHOOT

!?





強力な
溶解液!?

武器も
溶かされた...

シヤンテ逃げよう!
もう私達しかいない!

ベルマリア...

ズザッ



こいつは私達も
逃さないつもり
みたい

とにかく防護の
魔術だけでも...

シヤンテ
危ないっ!!

ぐっ!?

溶ッ
早ッ...!?





シヤンテツ
大丈夫ッ？

私はあ…ッ
慣れてるけど…
へへ…あッ

バカッ…言っ
てないで…絶対
離さないで

溶解に耐えるので
精一杯なのッ…
我慢してて…！あッ



シヤンテ平気？
どうしよう…
このままじゃ…

この化け物…
私達を中から
消化しようと…



今もってる

何とかする
から

大丈夫

ゼー

ゼー

ゼー

離すなって
言った…!!

バカでしょシヤンテ!?
この術って維持に
どれだけ魔力使うの!?

私は見捨てて!
一人ならなんとか
なるかもだから!!

嫌よ…

嫌って何!?
シヤンテは
魔術師でしょ!?

何でも出来る!
私のことだつて
これまでずっと…!!

一人だけでも
助かって!!
お願い!!







何…してるの…
これじゃ私何もつ
シヤンテ!!



魔力を込めた時間だけ
弱体化する代わりに
絶対に死にはしない

ちよつと!?何言つて
んのふざけないで!!

ありったけ込めた
から1年は保つ

これだけ凶悪な
魔物：きつと誰かが
討伐に来てくれる

シャンテッ!
自分を守つて
死んじゃうつ

誰も来なくて
ムダに苦しみを
伸ばすだけかも
その時は私を
恨みなさい

魔物に犯されて
喜んでる貴女は
滑稽だったわ

…そうだ
私貴女のこと
嫌いだったの



：貴女が後遺症に
苛まれているのは
すぐに気付いた

酷似する症例を
いくつも知って
いたから…

ベルマリアの様子は
どうだった？

最悪…退団も
ありえるか…

それが
滑稽でね

少しいじめて
やろうかと思っただけ

彼女の退団は
待つてください

私の話を聞いて
いただけませんか

え？いやまだ
そこまでの
話では…

彼女の散漫さは心因性です
それだけを何とかすれば
彼女はギルドの最大戦力です

私が彼女を
何とかします

ベルマリアは
私が治します！

落ち着けて…
でもまあ治せる
ならありがたいよ

本当に…
それだけ

それにしても
シャンテ…



ギョ

ぶっ
ぐぐ

ア
ア
ア

ア
ア
ア

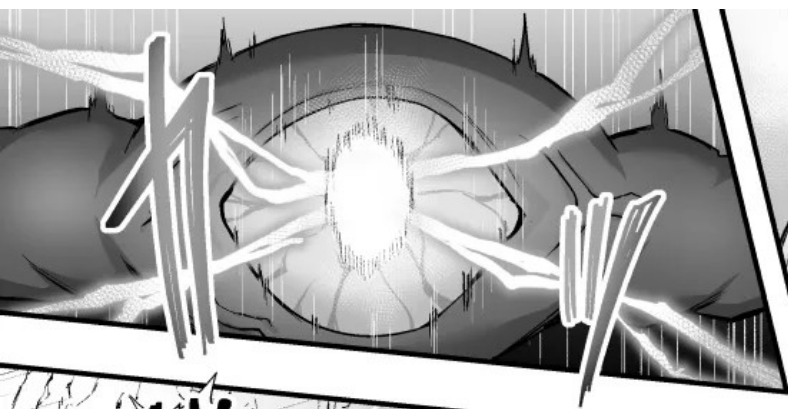
ぶっ
ぶっ
ぶっ
お!!

ギョ
ギョ

ベルマリアのことだと
本当によく喋るよな

シヤンテツ!!

三



嫌いなんで嘘ッ！
そんな人を命懸けで
助けるわけ無いッ！！

ギョウウウウ



馬鹿ね…首輪の
呪いに抗うなんて…

嫌

ブルウウ



嘘ッ！私は好きよ
シヤンテのこと！
言って！



さいご…くらい
しずかに…してよ
そういうところも
…きらい…

ゴッ

ゴッ

キヤッ

トッ

ゴッ





嫌だ!!

なんだよお...
「かも」って...

あつあ...

ボ
チャッ

離
し
て
!!

あつ!!

グ
ッ

グ
ッ

待つて!
そこにシヤンテがつ
お願いつせめて
ここにいさせて...



ポッ

ブル
ブル
ブル

そんなっ:
飲み込まれて:

ビクッ

ビクッ

シャンテは
私を底つて
死んだのに

ジュー

グッ

私一人だけ
頭がおかしい

あつあつ
止まらな...

お尻つ
そこ違うう

この化物は私を
殺すつもりで
飲み込んだのに

ズグ
ズグ
ズグ

ブルッ

めろっ

ズグ

私一人だけが
粘膜を擦られて
快楽に敗けてる

ひびきやあー!!

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

私だけバカじゃん
そんなの……!!

惨めだよ……

ちゅっ

やだ……もう気持ち
いいの嫌だ……

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ちゅっ

ズッ
ズッ
ズッ





そこ違うう…
乳首壊れ
ちやうからあ…

助けて…

ほわ…

助けて…

ビクッ

ド
ド

ガッ

ゴッ

あふ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ボッ

ボッ

ズ
ズ
ズ

ずちゅの

ぐぼ

へい

ビクッ

ズ
ズ
ズ

くちゅ

あふ



飲み込まれてから
どれ程の時間が
経ったのだろう…

私が出来ることと言えば
快楽に悶えてビクビクと
身体を震わせるだけ…

それでも…
時折少しだけ責めが
軽くなった時だけ
私は正気でいられた

その時間で私はようやく
シヤンテとの会話を
思い出すことが出来た

その日は珍しく
シャンテが深酒して
口を滑らせていた

レアだ

「たまたま同じ依頼を
受けて私のギルドと
協力したその帰り…」

デカッ

「魔術師ウチにいない
から困ってたんだ！
このまま入団しなよ」

「団長もいいよね！
決定！よろしく！」

それがシャンテには
とても嬉しかった
らしく

私は思わず
「そんなことで？」
と言ってしまったが

「そんなことで。」



やっと
思い出した

でもぎつと
すぐに
忘れちゃう



ズッ

おっ
おっ
入るの……

くっ

おしり
やだよ……

もう心が
持たないんだ

ハッ

トッ

めっ……



来るか分からない
助けを待って
いつまでも
耐えられない

毎日気持ちよく
されちやつて…
とつくに身体は
屈してるの…

もう諦めよう

そうすれば
何も辛くは
なくなる

＜ほ＞

139

しぽ

アップルパイ

くま

くちゅっ

Lo

もういいよね
シヤンテ

…もう少し
もう少しだけ
我慢するから

「あやっ」

もう少しだけ……
もう少しだけ……
頑張った……

181'21'59

END



鉄槌の女戦士

魔物に負ける妄想
死に負ける妄想をこじらせ

死ぬより酷い目にあう